

2024(令和6)年度

事業報告

2024年4月1日から
2025年3月31日まで

公益社団法人 日本ラクロス協会



要 旨

【事業概況】

2024 年度は「Grow the Game 元年」と位置づけ、①各地区における経理人材の登用、②大阪への倉庫（兼コミュニケーションスペース）の設置、③全国会議等による地区・部門横断的な交流機会の創出、④本部への若手人材の登用に対して、戦略的な予算投下を行いました。また、FPJ 活動への注力により、数年ぶりに競技会員数が増加に転じました。全国的に Welcome Match の取り組みを推進したことで、地域における集客活動が再点火され、連盟活動をはじめとする対面コミュニケーションの機会も拡大しました。「自分たちの遊び場は自分たちで創る」という日本ラクロスの原点を大切にしながら、JLA 全体が力強く活性化した一年となりました。国際的には、男女ともに各世界選手権大会で上位成績を収め、世界の強豪国としての地位を着実に築きつつある中、2024 年 11 月には JOC に正式加盟し、「2028 ロサンゼルス大会ターゲットスポーツ」にも選定されました。社会からの期待が一層高まる中、その責務を果たすべく、体制整備と組織強化を着実に進めています。

2026 年女子・2027 年男子の世界選手権大会の日本開催という追い風を力に変えながら、競技の発展と組織の持続的成長に向けて取り組んでまいります。

[大会運営] 各地区リーグ戦運営のクオリティを向上すべく、マッチコミッショナー（MC）とゲームディレクター（GD）による運営体制を強化するとともに、各選手権大会では集客・協賛・広報の充実を図ることで「観るスポーツ」としての価値を高めることに注力しました。

[審判] 1 級審判員の継続輩出におけた若手育成、競技性向上に対応する教育・評価プログラム見直しを行い、ジュニア、SIXES、BOX 等、多様な競技形式への対応を進めました。世界選手権大会（WC）において日本人審判が決勝戦クルーに選出される等、国際的な評価も高まりました。

[指導者] 新指導者制度の施行におけ、JLA の主体性を重視する文化の再啓発を行い、指導者間の連携強化に着手しました。

[日本代表] 女子競技では U20WC(香港)で英豪を破り過去最高位の 3 位、アジアパシフィック選手権大会(豪州)では優勝を果たし、男子 BOX 競技においても WC(米国)に初出場し 8 位の成績を収めるなど、日本ラクロスの総合力が発揮された一年となりました。

[普及] U12 世代(ジュニア)では、大会に全国から多くのチームが参加し、また、来日した海外チームとの国際交流イベントも開催しました。U18 世代(中高生)対応も進めました。

[マーケティング] 企業とのパートナーシップ形式として、National Team（日本代表）、Competition（選手権大会）、Culture（文化、競技外活動）の3カテゴリーの整備が進展した結果、多様な協賛パートナー獲得を実現し、持続的発展に資する基盤を構築しました。

[広報] 専門家と連携し、メディアとの関係性構築に更に取り組み、ラクロスの基礎情報や日本代表の活動内容等をより広く発信しました。公式 WEB の記事数・閲覧数、各 SNS フォロワー数、Japan Lacrosse Live での配信試合数が大幅に増加し、コミュニティ活性化と一般向け広報の両面で成果をあげました。引き続き、協会機関誌、大会パンフレット等は、オンライン発刊に加えて、紙媒体での発行にも取り組みました。

[安全対策] 多様で多数の専門家で構成される医科学委員会内の3部会(安全対策/アンチドーピング/アスリートパフォーマンス)の活動を活発に進め、安全管理に向けてSG(Safety Guard)体制を整備し、実地講習会やWEBセミナーで啓発活動を実施しました。

[ガバナンス] JLA の文化を大切にしながら、スポーツガバナンスコードに基づいた体制整備を進め、JOC 加盟を実現しました。

【決算概況】

2024年度は、コロナ禍の影響により減少傾向にあった競技会員数および会費収入が、新入部員獲得活動の注力により増加に転じました。また、BOX 競技世界選手権への日本代表初派遣、全日本選手権のさらなる規模拡大、公式戦以外の各種活動の増加等により、収入・支出ともに予算を大幅に上回る結果となりました。更なるパートナー獲得により協賛金収入も増加しました。

この結果、通期での収入は予算対比+15%、2023年度実績対比+32%の466百万円となり、うち会費収入は予算対比+3.8%、2023年度対比+2.1%の156百万円となりました。一方、経常費用は予算対比+12%、2023年度実績対比+27%の456百万円となりました。最終的に、一般正味財産増減(通期最終損益)は予算対比+10百万円となり、純資産は141百万円で着地しました。

事業活動

【公益目的事業の内容】

日本におけるラクロスの普及・振興を通じた、スポーツ文化の創出・人材の育成・地域社会の発展および国際親善の促進を実現するための活動

【趣旨(目的)】

日本ラクロス界を統括し代表する、国際ラクロス連盟(World Lacrosse)に認定された唯一の団体として、ラクロスを通じた豊かなスポーツ文化の創造、及び人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献し、国際親善に寄与することを目的とする。

また、当法人は全ての事業を上記目的の達成手段として実施しており、全国各地区及び全年代での競技活動を実現するためには不可分な事業であるため、当該事業を相互に関連するものとして実施し、一つの公益目的事業としてまとめている。

【事業の内容】

(1) 審判資格認定事業

ラクロス競技の試合において選手およびチーム間に公正、安全かつ円滑に試合をコントロールするための審判員の資格認定テストを行っている。審判員の資格は知識、技能により男子が1~3級、女子が1~4級に分かれており、各級決められた試験において合格し、資格取得に必要な講習会に参加することにより認可、付与される。

① 2025年新規審判員資格試験(オンライン試験)

- 日程:2025年2月9日(日)
- 受験料:1,500円/1名
- 男子競技3級審判員:申込者数1,855名、合格者数368名
女子競技4級審判員:申込者数1,654名、合格者数312名
- ※ 試験合格者は実地講習受講後、各級が付与される。

[各級の保有人数(2025年3月末現在)]

- 男子競技
1級:30名 / 2級:79名 / 3級:384名
- 女子競技
1級:33名 / 2級:100名 / 3級:297名 / 4級:117名

(2) 指導者資格認定事業

ラクロス競技の正しい知識と技能を有するラクロス指導者を養成するために、公認指導者の認定の講習会をS・A・B各級に分けて行っている。(S級指導者認定講習は2025年度より実施。)

① A級指導者認定講習(4日間:各ターム1日間参加)

- 開催日程:
第1ターム:2024年1/28, 2/10, 2/11, 2/17, 2/18
第2ターム(1):2024年6/8, 6/12, 6/16, 6/19, 6/22
第2ターム(2):2024年9/18, 9/21, 9/25, 9/28, 10/2
第3ターム:2025年1/11, 1/12, 1/19, 1/25, 1/26
(※2024年度資格(4/1~有効)対象の講習である2024年1,2月の実績も参考記載)
- 総受講者数:受講 52名、認定 46名
- 受講料:30,000円/1名

② B級指導者認定講習(1日間)

- 開催日程:
2024年3/2, 3/6, 3/14, 3/23, 3/30, 3/31, 4/11, 4/14, 4/17, 4/20, 4/21,
4/24, 5/12, 5/22, 5/29, 6/1(計16回)
(※2024年度資格(4/1~有効)対象講習である2023年3月の実績も参考記載)
- 総受講者数:受講 340名、認定 302名
- 受講料:5,000円/1名

③ A級指導者 新制度移行講習(1日間)

- 開催日程:
2024年10/30, 11/2, 11/3, 11/6, 11/9, 11/10, 11/13, 11/16, 11/17, 11/20,
11/24, 12/4, 12/7, 12/16
2025年3/27, 3/29
- 総受講者数:218名
- 受講料:なし

[各級の保有者数(2025年3月末現在)]

SS級:3名/S級:33名/A級:327名/B級:1094名

(3) 審判養成事業

審判資格を持った者を対象に、試合における安全性・公平性・そしてラクロスの競技特性を確保することができるような審判を育成することを目的に講習会を行っている。

[主要地区における開催実績]

① 女子競技若手審判員地区間交流会(関東)

- 開催日程:2024年10月
- 場所:オンライン および 大井ホッケー競技場メインピッチ
- 参加者数:9名
- 内容:オンライン、実地活動を通じて、より高い技術レベル達するための必要事項の確認、および地区間をまたぐ同世代の交流

② 女子競技1級勉強会(関東、関西)

- 開催日程:2024年6月22日、30日
- 場所:大井ホッケー競技場サブピッチ、会議室/同志社大学京田辺グラウンド
- 参加者数:24名
- 内容:危険なプレーの認識合わせ、技術査定、指導者とのディスカッション

③ 男子競技2級審判員地区間交流会(関西)

- 日時:2024年6月1日
- 場所:鶴見緑地第2球技場
- 参加者数:10名
- 内容:試合観戦し他地区の審判員との意見交換 および 交流会、関西地区における将来の中心となる2級審判員に向けた成長機会の提供

④ 審判指導者育成(関西)

- 日時:2024年10月5~6日
- 場所:鶴見緑地スタジアム
- 参加者数:3名
- 内容:西日本地域の中心的人材の育成、関西関東の1級および2級との交流による人材育成の活性化

[全国大会における開催実績]

⑤ 2024年度JLA公認男子競技3級、女子競技4級審判員資格取得者講習会

- 開催日程:2024年3~5月
- 場所:7地区(北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州)に分け、各地区の事情にあわせ、グラウンドや試合を使用しての実地講習、オンライン講習、会議室使用の対面講習など実施
- 参加者数:782名(女子競技:389名、男子競技:393名)
- 内容:審判員の心得、各級の説明、今後の講習会等について

(4) 選手育成事業

選手を対象に、試合におけるルールの周知やメンバー間のコミュニケーション、競技を通じて心身の健全な育成をすることを目的に講習会を行っている。

[主要地区における開催実績]

① 学生競技団体の責任者(主将)に対する研修合宿(関東)

- 目的:主将同士の対面交流、各主将の視座を上げ地区としての競技レベル、運営レベル向上
- 開催日程:2025年1月20~21日(宿泊形式)
- 場所:東京・八王子セミナーハウス
- 参加者:100名

② 学生競技団体の責任者(主将)に対する研修合宿(関西)

- 目的:主将同士の対面交流、各主将の視座を上げ地区としての競技レベル、運営レベル向上
- 開催日程:2025年2月6~7日(宿泊形式)
- 場所:大阪・ロッジ舞洲
- 参加者:64名

③ 学生競技団体の責任者(主将)に対する研修合宿(東海)

- 目的:主将同士の親睦を深め東海地区の結束を作る、運営と各大学のつながりを作る
- 開催日程:2025年2月15~16日(宿泊形式)
- 場所:名古屋・愛知学院大学
- 参加者:58名

④ 大会運営スタッフ(ボランティア)に対する研修合宿(関西)

- 目的:大会運営スタッフの動機付けとモチベーション向上
- 開催日程:2024年12月26~27日(宿泊形式)
- 場所:大阪・ロッジ舞洲
- 参加者:31名

⑤ 大会運営スタッフ(ボランティア)に対する研修合宿(東海)

- 目的:学連の役員としての動機付け、及びモチベーション向上。社会人で今もラクロスに関わっている方々と交流することで今後の連携に繋げる
- 開催日程:2024年12月28~29日(宿泊形式)
- 場所:名古屋・愛知学院大学
- 参加者:25名

⑥ 学生競技団体の責任者(主将)および大会運営スタッフ(ボランティア)に対する研修(北海道)

- 目的:主将同士・運営スタッフと主将の対面交流、各人の視座を上げ地区としての競技レベル、運営レベル向上
- 開催日程:2025年1月25日
- 場所:Space 札幌大通 EAST
- 参加者:40名

⑦ 大会運営スタッフ(ボランティア)に対する研修合宿(九州)

- 目的:大会運営スタッフの動機付けとモチベーション向上
- 開催日程:2025年2月1~2日/宿泊形式
- 場所:福岡県・宗像市グローバルアリーナ:
- 参加者:26名

(5) 初心者体験会事業

正しいラクロスの技術指導を実施することによって、地域に幅広い競技層を開拓し、競技人口の拡大と新人選手の確保・育成に努め、ラクロス競技を通じて地域スポーツの振興を促進し、地域社会の活性化と健全な発展に貢献している。

① キッズ・ジュニアラクロス体験会

協会や地域のラクロス団体を中心となり行う、ラクロスに興味のある者であれば参加できる(会場等の収容可能人数、先着順等の条件はあり)体験会。主に未就学児、小学生を対象とし、安全にラクロスを体験できるようにジュニアラクロスのルールと用具の使い方の指導を行っている。

[主な開催実績]

i. 関西地区キッズラクロス体験会(日本ラクロス協会主催)

- 開催日程:2024年4月28日、8月12日、10月19日、11月4日
- 参加者数:延べ50名

ii. USFスポーツキャンプ in 奈良(UNITED SPORTS FOUNDATION 主催)

- 開催日程:2025年1月26日
- 場所:奈良県天理市長柄運動公園
- 参加者数:80名

iii. キッズフェス伊丹 2024(兵庫県伊丹スポーツセンター主催)

- 開催日程:2024年11月24日
- 場所:兵庫県伊丹市伊丹スポーツセンター

- 参加者数:150名

iv. 小学生土曜学習プログラム(名古屋市教育委員会主催)

- 開催日程:2024年12月14日
- 場所:名古屋市立平子小学校
- 参加者数:24名

- 開催日程:2025年2月1日
- 場所:名古屋市立黒石小学校
- 参加者数:26名

v. あかつきキッズラクロス(日本ラクロス協会主催)

- 開催日程:2025年3月16日
- 場所:美作市総合運動公園サブアリーナ
- 参加者数:16名

vi. 夏のレクフェス(多賀城市役所地域コミュニティ課)

- 開催日程:2024年7月6日
- 場所:さんみらい多賀城イベントプラザ
- 参加者数:40名

vii. 初心者体験会(日本ラクロス協会主催)

- 開催日程:2024年10月26日
- 場所:福岡市平和台陸上競技場
- 参加者数:20名

viii. 北海道地区ジュニアラクロスパーク(日本ラクロス協会主催)

- 開催日程:2024年9月25日、10月9日、11月6日、12月4日、2025年1月15日、2月5日、3月5日
- 場所:フットサルスタジアム蹴
- 参加者数:60名

ix. スポカル2024(スポカル2024 実行委員会主催)

- 開催日程:2024年6月16日
- 場所:コミュニティドーム つどいむ
- 参加者数:230名

x. 多種目体験型スクール DO!スポ KIDS (一般財団法人札幌市スポーツ協会主催)

- 開催日程: 2024年6月25日、8月23日・30日、9月2日・9日、11月1日・8日、2月13日・20日・21日
- 場所: 札幌市内体育館(6箇所)
- 参加者数: 各回24名

xi. 川崎ジュニアラクロス教室 (富士通スタジアム川崎・日本ラクロス協会 共催)

- 開催日程: 2024年4月~2025年3月(原則月2回)
- 場所: 富士通スタジアム川崎
- 参加者数: 1回あたり約10名

② フレッシュマンズキャンプ

地区ごとに、新規入部者である大学1年生を対象にしたキャンプ。大学生からラクロスを始めるものが多いため、新人選手への正しいラクロスの技術指導と競技者相互の親交を目的としており、ラクロスの技術向上、普及振興を期している。

| 地区 | 形式 | 開催日程 | 場所 | 参加者数 | 参加費 |
|-----|----|--|---|------|----------------------------|
| 北海道 | 宿泊 | 2024年6月29-30日 | 新篠津村運動公園サッカー場 | 87名 | 25,000円 |
| 東北 | 宿泊 | 2024年7月6-7日 | 女川町総合運動公園 | 97名 | 23,800円 |
| 関東 | 宿泊 | 2024年6月8-11日 2024年6月15-17日 2024年6月22-24日 | 茨城県神栖市波崎 | 731名 | 37,000円 |
| 東海 | 宿泊 | 2024年6月22-23日 | 静岡県つま恋リゾート | 313名 | 32,200円 |
| 関西 | 宿泊 | 2024年6月8-9日 2024年6月22-23日 | 兵庫県神戸市須磨区 | 120名 | 25,000円 |
| 中四国 | 宿泊 | 2024年6月22-23日 2024年6月29-30日 | 岡山県玉野スポーツセンター | 236名 | 17,000円 |
| 九州 | 宿泊 | [男子]2024年6月15-16日 [女子]2024年6月15-16日 | (男子)福岡県宗像市グローバルアリーナ (女子)佐賀県佐賀市古湯キャンプ | 196名 | [男子]26,000円 [女子]30,000円 |

(6) 大会開催事業

各地区リーグ戦、各全国大会、国際交流試合などを本格的に再開させるとともに、多くの試合でオンライン配信を実現した。

① 学生リーグ戦

i. 第 29 回北海道学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024 年 8 月 12 日~10 月 13 日
- 参加チーム数:[女子]6 チーム / [男子]5 チーム
- 試合数:全 27 試合
- 優勝チーム:[女子] 北海道大学 / [男子]北海道大学

ii. 第 30 回東北学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024 年 8 月 13 日~10 月 19 日
- 参加チーム数:[女子]5 チーム / [男子]5 チーム
- 試合数:全 24 試合
- 優勝チーム:[女子]東北大学 / [男子]東北大学

iii. 第 36 回関東学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024 年 7 月 5 日~12 月 14 日
- 参加チーム数:[女子]60 チーム / [男子]37 チーム
- 試合数:全 238 試合
- 優勝チーム:[女子]早稲田大学 / [男子]慶應義塾大学

iv. 第 32 回東海学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024 年 7 月 20 日~11 月 9 日
- 参加チーム数:[女子]15 チーム / [男子]11 チーム
- 試合数:全 75 試合
- 優勝チーム:[女子]南山大学 / [男子]名城大学

v. 第 34 回関西学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024 年 7 月 20 日~11 月 17 日
- 参加チーム数:[女子]23 チーム / [男子]19 チーム
- 試合数:全 134 試合
- 優勝チーム:[女子]関西学院大学 / [男子]神戸大学

vi. 第31回中四国学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024年7月14日~10月26日
- 参加チーム数:[女子]8チーム / [男子]8チーム
- 試合数:全34試合
- 優勝チーム:[女子]岡山大学 / [男子]岡山大学

vii. 第32回九州学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024年7月13日~10月26日
- 参加チーム数:[女子]7チーム / [男子]7チーム
- 試合数:全36試合
- 優勝チーム:[女子]福岡大学 / [男子]九州大学

② クラブチームリーグ戦

i. 第12回北海道クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024年7月7日~9月28日
- 参加チーム数:[男子]3チーム ※女子は開催なし
- 試合数:全7試合
- 優勝チーム:North AXIS

ii. 第33回東日本クラブチームラクロスリーグ戦

※ 独立行政法人日本スポーツ振興センターよりくじ助成金の交付を受け、実施。

- 開催期間:2024年5月25日~12月8日
- 参加チーム数:[女子チャンピオン]6チーム、[女子ファン]8チーム / [男子チャンピオン]12チーム、[男子ファン]9チーム
- 試合数:全128試合
- 優勝チーム:[女子]NeO / [男子チャンピオン]Grizzlies、[男子ファン]TALACO

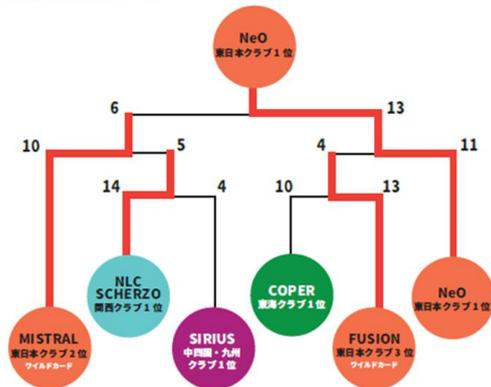
iii. 第9回東海クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024年7月21日~10月6日
- 参加チーム数:[女子]3チーム / [男子]3チーム
- 試合数:全14試合
- 優勝チーム:[女子]COPER / [男子]OPEC VORTEX

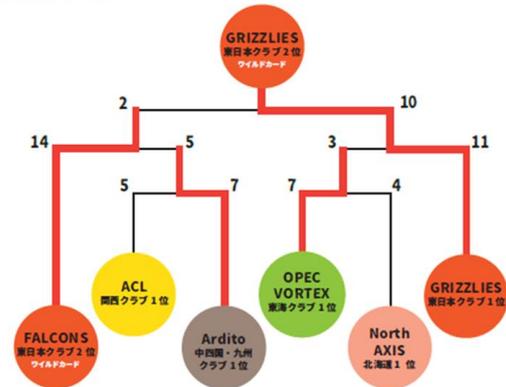
iv. 第30回関西クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2024年7月15日~11月17日
- 参加チーム数:[女子]3チーム / [男子チャンピオン]4チーム、[男子ファン]4チーム

WOMEN'S



MEN'S



iii. 第34回ラクロス全日本選手権大会 (A1)

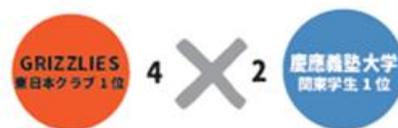
※ 独立行政法人日本スポーツ振興センターより基金助成金の交付を受け、実施。

- 開催日程: 2025年1月18日
- 場所: 調布市・東京スタジアム
- 参加チーム: 全日本大学選手権大会 優勝チーム(大学日本一)
および 全日本クラブ選手権大会 優勝チーム(クラブチーム日本一)
- 優勝チーム: [女子]NeO / [男子]GRIZZLIES

WOMEN'S



MEN'S



iv. 第3回ラクロス全日本学生新人選手権大会～あかつきカップ～

- 開催日程: 2025年3月14日～3月16日
- 場所: 岡山県・美作市総合運動公園ラグビーサッカー場
- 参加チーム: 北海道・東北・関東・東海・関西・中四国・九州の新人戦優勝チーム
および 中四国の新人戦準優勝チーム
- 優勝チーム: [女子]同志社大学 / [男子]青山学院大学・東京学芸大学【合同】

④ 国際交流試合

i. 女子 20歳以下香港代表来日交流試合

- 開催日程: 2024年7月29日
- 場所: 福岡県宗像市・グローバルアリーナ

- 参加チーム:(女子):女子 20 歳以下香港代表、福岡教育大学、福岡大学、九州ユース、北九州市立大学

ii. 女子 20 歳以下代表交流試合

- 開催日程:2024 年 8 月 8 日~10 日
- 大井ホッケー競技場サブピッチ、富士通スタジアム川崎
- 参加チーム:、女子 20 歳以下豪州代表、女子 20 歳以下日本代表

iii. 女子韓国代表来日交流試合

- 開催日程:2024 年 10 月 10 日~12 日
- 場所:東京品川区 大井ホッケー競技場メインピッチ、等
- 参加チーム:女子韓国代表、日本女子大学、慶應義塾大学女子、明治学院大学女子

⑤ その他主催大会

i. 日本代表チャレンジ 2024

- 開催日程:2024 年 5 月 26 日
- 場所:東京・スピアーズえどりくフィールド
- 対戦カード:女子 20 歳以下日本代表 vs 女子日本代表

ii. 第 3 回ジュニアラクロスリーグ戦

場所:小学校グラウンド、公共グラウンド、等

[U-12 カテゴリ]

- 開催期間:2024 年 4 月~2025 年 1 月
- 参加チーム数:6 チーム
- 優勝チーム:ラクロスアカデミージャパン

[U-10 カテゴリ]

- 開催期間:2024 年 4 月~2025 年 1 月
- 参加チーム数:10 チーム
- 優勝チーム:ラクロスアカデミージャパン

[U-8 カテゴリ]

- 開催期間:2024 年 12 月~2025 年 1 月
- 参加チーム数:5 チーム
- 優勝チーム:HAMALAX

iii. 第 5 回関東ジュニアラクロス大会

- 開催日程:2024 年 12 月 7 日

- 場所:東京・江戸川区臨海球技場
- 参加チーム:計 31 チーム
- 優勝チーム:
[U-12 カテゴリ] ラクロスアカデミージャパン
[U-10 カテゴリ] ラクロスアカデミージャパン
[U-8 カテゴリ] ハマラクアカデミーJC 大田

⑥ 国際競技大会への日本代表派遣

i. 2024 WORLD LACROSSE WOMEN'S U20 WORLD CHAMPIONSHIP

- 開催日程:2024 年 8 月 15 日～ 8 月 24 日
- 場所:中華人民共和国香港特別行政区
- 派遣チーム:女子 20 歳以下日本代表
- 参加国:20か国
- 大会結果(順位):3位

ii. 2024 WORLD LACROSSE BOX CHAMPIONSHIP

- 開催日程:2024 年 9 月 22 日～ 9 月 29 日
- 場所:アメリカ・ニューヨーク州ユータカ
- 派遣チーム:男子 BOX 日本代表
- 参加国:28か国
- 大会結果(順位):8位

iii. 2025 Asia-Pacific Women's Lacrosse Championship – World Qualifier

- 開催日程:2025 年 1 月 6 日～ 1 月 11 日
- 場所:オーストラリア・クイーンズランド州 サンシャイン コースト
- 派遣チーム:女子日本代表
- 参加国:8か国
- 大会結果(順位):優勝

⑦ 世界選手権大会の準備活動

日本での世界選手権大会開催に向け、以下を実施した。

- 2024 年 8 月 20 日～25 日:U20 女子世界選手権大会(香港)を視察
- 2025 年 1 月 16 日:World Lacrosse、東京都、JLA3 者同時リリース発出
(内容:2026 ラクロス女子世界選手権大会 東京開催決定)

➤ [World Lacrosse]

<https://worldlacrosse.sport/article/tokyo-announced-as-host-city-for-2026-world->

[lacrosse-womens-championship/](#)

➤ [東京都]

https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/seisaku/kokusai_25011601.html

➤ [日本ラクロス協会リリース]

<https://www.lacrosse.gr.jp/news/50888/>

(7) 広報普及活動

広報活動に関しては、機関誌の発行をはじめ、公式 web や SNS 等で情報発信の迅速性、正確性、網羅性、品質向上を目指し、更なるコミュニティ活性化を推進させている。安全対策については、医科学委員会が全国の安全対策代表者と連携し、実地講習会や WEB セミナーなどを通して安全対策に対する啓発活動を行っている。

① 機関誌(e-book)発行

- 名称: JLA 機関誌 LACROSSE MAGAZINE JAPAN yearbook 2023-2024
- 公開日: 2024 年 7 月 8 日
- URL: <https://www.lacrosse.gr.jp/ebook/lacrossemagazinejapan2024/>

② WEB/SNS での情報発信強化

[Web サイト PV 数(2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日)]

- JLA 公式サイト: 193 万 PV
- ラクロスマガジン web: 10.2 万 PV

[SNS フォロワー数(2025 年 3 月時点)]

- 公式 Instagram
JLA: 9,460 / ラクロスマガジン: 2,678 / フォトグラファー: 2,861 / 北海道地区: 1,021
/ 東北地区: 1,177 / 関東地区: 6,405 / 東海地区: 1,388 / 関西地区: 3,297
/ 中四国地区: 1,571 / 九州地区: 972 / 国際部: 1,571 / 男子日本代表: 11,130
/ 女子日本代表: 5,864
- 公式 X
JLA: 9,773

③ 試合のオンライン配信 (Japan Lacrosse Live)

[配信実績(2024 年 4 月-2025 年 3 月)]

- 配信動画数: 425 試合(過去動画も含む)
- 総視聴回数: 360,684 回

④ 第29回ラクロス献血推進キャンペーンの実施

ラクロス関係者の社会貢献活動の一環として、血液が不足する春頃に毎年行う活動。2025年3月24日～31日に各地区で実施した。総受付数は1,668名。

[受付数:地区毎内訳]

| 北海道 | 東北 | 関東 | 東海 | 関西 | 中四国 | 九州 |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 137 | 78 | 448 | 282 | 509 | 142 | 72 |

⑤ 2024年医科学委員会主催 ラク로스医科学セミナー

医科学委員会により、下記複数のテーマのオンラインセミナーを実施。

i. 『フィールドでのアジリティトレーニングの計画と実施』『試合期のトレーニング計画の立て方』

- 開催日程:2024年4月7日
- 参加者数:96名

ii. 『安全対策部門とアスリートパフォーマンス部門合同開催 相談会』

- 開催日程:2024年7月6日
- 参加者数:47名

⑥ アンチ・ドーピング委員会の活動

i. アウトリーチ活動(試合会場でのアンチ・ドーピング啓発活動)を実施。

[1回目] 第32回東海学生リーグ戦の決勝戦会場におけるブース出展

- 開催日程:2024年10月20日
- 場所:名古屋・パロマ瑞穂北陸上競技場
- 参加者:58名

[2回目] 第15回全日本大学選手権大会の決勝戦会場におけるブース出展

- 開催日程:2024年12月15日
- 場所:東京・スピアーズえどりくフィールド
- 参加者:71名

その他

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)への加盟

2024年11月26日に行われたJOC理事会にて、JOCの正加盟団体となることが承認。

(正加盟団体としての認定期間は2029年3月31日まで)